

前回会議における意見の振り返り

委員	前回の主な意見	視 点							参考 資料 番号	
		定住	空間	資源	来街者	情報	商業	ヒト		
大塚委員	1. 人口が増えてもそれがまちのにぎわいにつながっていない。どうつなげるかが課題。	① ②								
	2. 歴史的な資源を面的につなげて中心市街地の魅力につなげていくことが重要。			⑥ ⑩					8,9	
	3. 信長が4年間ここに戦国時代の戦術的な拠点として小牧城を構えた。信長は全国的に人気があるので、信長ゆかりの地が広域的に協力してPRし一回行ってみたいなどと思ってもらえるような仕掛けをして、訪れる人におもてなしをするというストーリーを描いて、そのためのハード、ソフト両方の準備をすることを考えてはどうか。			⑦ ⑧						7,8,9
	4. 駅前広場の空間をイベント空間としてもう少しソフトな仕組み、工夫で活用していくことを考えてはどうか。		③							3
	5. 商店街全体がまとまって何かをやろうとするのはたぶん無理。“この指とまれ”方式で共通の理解を持った人が集まるやり方でないとうまくいかない。								⑳	
	6. 小牧には小牧山を中心に中世から近世にかけてまちがつくられてきた歴史があるので、そういう歴史あるものをちゃんと保全しながら、次代につなげていくことが重要。これが小牧市民の誇りになっていくようになれば、中心市街地も何とかなっていくのではないか。			⑤						8、9
生田委員	1. 駅周辺の人口が伸びているということ、幼年人口が減っているということが目にとまる。	①								
	2. 図書館とかも整備されて中心市街地に活力が出るようなものを集中的に配置しつつあるという印象。		②							1,2,3
	3. 小牧駅から小牧山まで歩いているときの印象は密度感が薄く感じられる。		③							11
	4. 新しいものだけではなくて、古くてよいものをうまくネットワーク化して、何か魅力が出てくるといい。			⑩						8,9
	5. 商店街は最初のうち育てるのに、仕掛け人みたいな方がいるとよい。								㉕	
	6. メインロードは広くても細い道のほうに何かあると、意外といいのかもしれない。			⑩						9,11
鶴田委員	1. 住まう人は増えているがまちに出てこない。	① ②								
	2. 駅で降りて駅の周辺で何かをするなどのまち滞在率が低い。				⑮					
	3. 多様な世代が使えることとあまり目的が無くても来られるという意味で図書館が駅の近くにできるのは一つの光。		②							2
	4. 建物の中、外含めてまちの中に居場所をつくる。		⑤							1,2,3
	5. 中心市街地での滞在期間を延ばす、そこに何か魅力を持ってくると、来訪者も増える。				⑭ ⑮					
	6. 空き家については貸す人と借りる人それぞれの悩みを全部聞いて、両方の悩みを全部解決してあげる仕組みをつくるのが大切。			⑪						
	7. つなげる中に図書館があり駅があり、その一つとして歴史的な文化財があり、単に観光だけじゃなくて、町を周遊できるようにすれば滞在を長くできる。				⑯					9,11
	8. シンボルロードについても、心象距離を短くするような仕掛けをしないと短くならない。実際の距離は短くならないが、道路空間のつくり方とか沿道にどういうものを張りつけるとか、何と何をつなぐかということで心象距離を短くすることを道路についてはやらないと、人が動いてくれない。		④							
	9. 小牧市が持っている道路空間を上手に使いながら、所々通りに居場所をつくり心象距離を縮めることはできる。		⑤							
名和委員	1. 休日は飲食業も休んでいるところが多く、人の集まりが非常に悪い。							⑱		
	2. 小牧市図書館、こども未来館といった大型施設がオープンすることに期待がある。		②							1,2
	3. コアができることによる展開を検討する必要がある。		②							
	4. 旧商店街の方たちの協力というのが不可欠だが、まちや将来に対してすごく温度差がある。								㉓	
	5. インスタグラムなどのSNSなどの発信機能を活用して話題をつくっていくことが大事。						⑰			
加藤委員	1. 日曜日に営業しているお店があまり多くない。							⑱		
	2. 小牧にぎわい隊が軽トラ市、城見市、タウン情報誌の発行を行っており城見市は1000人～3000人の集客があるが近隣のお店に誘導できていない。				⑨ ⑬	⑩				
	3. 今までの駅西広場はタクシー乗場などで人が入るスペースではない。次計画では車の乗入れがないと聞いており人が集まるようなことをやるとよい。		③							3
	4. 駅西広場と歩専1号線を組み合わせ活用すべき。駅西線を歩行者天国にしてつなぐとよい。		③							3
	5. ラピオの西側でやっている城見市を駅の周辺が整備されたらこちらに持ってくることも議論している。		③							3
	6. 観光案内所と小牧にぎわい隊がコラボして誘致イベントができる場所がほしい。イベントをやる場所の電源供給、雨の対策をしてほしい。		⑧							
	7. 駅前線歩道は意外と広いが花壇などがおいてあり半分は人が通れない。そこを歩く人が休憩できるようなスペースを作って有効に使ってほしい。		⑨							4
	8. 民間団体として出資して建物を手に入れて、テナントを募集、誘致してということを考えている。									⑫
山下本部長	1. 旧来の方が商売の後継者がいない状況で店を閉める所が増えており、街が変わってきている。							⑲		
	2. ショッピングや飲食店についてロードサイドに郊外店の大きな店ができて、相対的に中心市街地の空洞化が進んで集積が減る。							⑳		11
	3. 商店街に空き店舗が増えているが、民地に行政は手が出せない。			⑫						
	4. 土曜日日曜日あるいは夜、飲食店もなかなか張りつかない、魅力がないという中で滞在してもらえない、わざわざ来てもらえない状況。				⑭					
	5. 完全に区画整理的にきれいに道路などが整備されている状況でもなく、1つ奥に入れば細い道がまだまだある状況。		④							5
	6. 児童遊園はあるが駅から小牧山までの間には都市施設である公園がほぼない。		⑥							5
	7. 駐車場不足を懸念する声がある。		⑦							6
	8. 飲食店など店を借りたいという人がいても、出せる場所、店舗が見つからないという状況。								㉑	
	9. シンボルロードは非常に狭い道路だったのを拡幅して、通り抜ける道路になっているが商店街振興というか中心市街地の商業、サービス業、いわゆる商業集積に向けてはむしろマイナス。一定の集積をつくって歩いて回れるまちなか空間というのがキーワード								㉒	

※視点における番号は資料3の要約の記載番号です。